

2024年各社の戦略

〈各社の掲載内容〉

- 上段：2024年の事業方針
- 中段：2024年の重点テーマと注力する取り組み
- 下段：2024年の注目商品

目次 (敬称略、五十音順)

- 朝日ウッドテック株式会社 2
- 旭ファイバーグラス株式会社 3
- 株式会社ウッドワン 3
- 永大産業株式会社 4
- カネカケンテック株式会社 4
- クリナップ株式会社 5
- ケイミュー株式会社 5
- コニシ株式会社 6
- 城東テクノ株式会社 6
- ダイキン工業株式会社 7
- 大建工業株式会社 7
- タカラスタANDARD株式会社 8
- デュポン・スタイロ株式会社 8
- TOTO株式会社 9
- 南海プライウッド株式会社 9
- ニチハ株式会社 10
- 株式会社日新 10
- 株式会社ノーリツ 11
- 株式会社ハウステック 11
- パナソニックハウジングソリューションズ株式会社 12
- フクビ化学工業株式会社 12
- 吉野石膏株式会社 13
- 株式会社LIXIL 13
- リンナイ株式会社 14
- YKK AP株式会社 14

朝日ウッドテック株式会社



代表取締役社長
海堀 哲也 氏

明けましておめでとうございます。昨年は5月の5類移行を期にコロナ禍が明け、ようやく通常の生活が戻ってきました。しかしながら住宅市場におきましては、円安による資材高や人件費の高騰による販売価格上昇の影響などで、新設住宅着工戸数は非常に厳しい状況が続いております。加えて本年は、「2024年問題」による工期の長期化と配送コストのアップも懸念されており、また物価と賃金の継続的な上昇を受けて日銀がマイナス金利政策の解除に踏み切るという見方もあり、住宅ローン金利が上昇する可

可能性があります。更に中長期的には、SDGsによる持続可能な共生社会の実現に向けて脱炭素化のニーズの高まりや、DXの進展などの変化にも注目が集まっております。

そのような外部環境の変化に柔軟・迅速に対応しながら、当社は長年培ってまいりました「天然木の良さを引き出す独自技術」を更にブラッシュアップし、天然木内装建材の新たな需要創造に向け取り組むことで、「持続可能な木材資源の利用」に貢献してまいりたいと思います。

天然木の新たな活用提案で需要を創造する

本年は、次の3点に取り組んでまいります。一つ目は、昨年12月に発売した「WOODRIUM(ウッドリウム)」に注力します。これまで性能面で天然木製品が使いづらかったキッチンサイドや洗面台のカウンタートップに対し、当社が業界に先駆けて開発した挽き板を使用した商品です。斬新なデザインや、芯材にサステナブルな植林木を使用したことが評価され、昨年グッドデザイン賞を受賞いたしました。

二つ目は、基材から表面化粧材の挽き板までのすべてに国産材を使用したフローリング「ライブナチュラルプレミアム オール国産材」の販売強化です。これまで利用が進んでこなかった国産広葉樹の小径木を使用し、国産材の価値向上に貢献したことが評価され、こちらも昨年グッドデザイン賞を受賞いたしました。お施主様の暮らしが豊かになり、住宅会社様の利益につながることはもちろんですが、利益が山側にも循環し、ひいては里山の保護にもつながっていくことを願い、取り組んでまいります。

三つ目は、主力の突き板フローリングの強化です。昨年7月に低彩度な微着色を施した「ライブナチュラル MSX-L」を発売しました。トレンドのグレイッシュカラーを始めとする、幅広いインテリアスタイルに対応できるようになりました。今年3月には更なる色バリエーションの拡充を予定しており、より多くのお客様のこだわりの空間の実現に貢献してまいります。

これまでにない価値ある空間を実現する天然木商品を皆様にご提供し、「天然木がつくる幸せの循環」の実現に向け取り組んでまいります。本年もよろしく願いいたします。

WOODRIUM

銘木無垢・挽き板内装材
カウンター | 階段 | 手摺 | フリーボード



床にこだわる。家具にこだわる。家にこだわる時に、内装材はどうあるべきか。

ベンチシートやテーブル、階段や手摺はもちろん、キッチンサイドや洗面台のカウンタートップなど、これまで木を使うという発想がなかったところに、木を諦めていたところに、美しさと機能性、環境性を兼ね備えた銘木を。



朝日ウッドテック株式会社
<https://www.woodtec.co.jp>